



チャチャ通信

令和4年3月30日
子育て支援センター発行



チャチャ利用者総数
開所日数日 (3/1~3/25)
おとな 56名 こども 57名



- 3月末に保健センターからの配布物と一緒にチャチャ通信の臨時号とパンフレットを各世帯に配布しました。4月以降にチャチャを利用する時には、世帯に1冊ずつ、**令和4年度版子育て支援センター利用のしおり**をお渡しします。
- 3月8日に中止になった親子リズム体操遊びについて、講師の門間奈月さんより、家庭で出来る親子あそびや、ストレッチの資料を頂きました。チャチャ室で自由に見て頂けるように用意をしていますが、自宅ゆっくり資料を読みたい方は担当までお声掛けください。
- チャチャ室の開所時間は、9:30~12:00/ 13:00~15:30です。感染症予防対策を講じ、町民の方のみとし、検温・大人の方はマスクの着用・手や指の消毒をお願いします。同居する家族を含めて、感染の拡大が著しい地域へ往来した方や、体調が優れない場合は、ご利用をお控え下さい。
- ささいなことでもご不明な点がありましたら、ご利用の前に下記までご連絡ください。

Tel・告知端末機 5-1254 担当：橋本 (こども園内 子育て支援センター)



★予防接種の基礎知識★

先日、チャチャを利用した複数の方から「予防接種を受けたらその病気には絶対かからない？」と続けて質問を受けました。病気の中には、予防接種によって防げることがあり、生活の中で深刻な病気を流行させないためにも、病気の種類に応じて、適切な時期にワクチンを受けることが大切です。他にも同じように疑問を感じている方がいるかも知れないと思い、簡単に予防接種の知識についてまとめてみましたので、参考にしてください。

(以下、小学館 012歳児の保育より、澁谷紀子先生監修の記事より抜粋)

～予防接種の種類～

予防接種は2種類あります。個人と集団の健康を守るために国が接種をすすめる**定期接種**(決められた期間内であれば無料)と、希望者が受ける**任意接種**(原則としては、費用は自己負担。幌延町には補助制度あり。)



～予防接種が必要な理由～

子どもがかかりやすい病気の中には、重症化すると命に関わったり、後遺症が残ったりするものがあります。こうした病気の対策として大切なのは治療よりも「予防」です。最も有効的なのが、ワクチンを接種することです。ワクチンの効果は大きく分けて2つあります。1つめは、病気にかかる危険性を大幅に下げること。2つめが、万が一病気にかかった場合、症状を軽くすることです。ワクチンがある病気には、人から人へと移るものがあります。お子さん自身を病気から守ることはもちろん、病気を広めないためにも接種は大切です。

～予防接種を受ける際の注意と「副反応」～

予防接種を受ける際には、予診票を提出し、その日接種が可能かどうか、医師が最終的に判断をします。予防接種の効果を十分に生かすには、健康な体に接種するのが一番効果があります。医療機関の都合などもありますが、お子さんの体調の良い時を選んで予約しましょう。ワクチンとは別の種類のウィルスが体内にあると、ウィルス同士が影響しあって効果が薄れる場合があるからです。スケジュールづくりは難しいですが、上手に「同時接種」を取り入れましょう。予防接種は人の体に備わった免疫の働きで病気を防ぐ方法です。副反応は、ワクチンの種類によって異なりますがほとんどは一時的なもの。副反応を心配し過ぎるより、接種せず病気にかかってしまった場合のリスクを知り、予防接種の意味と役割をきちんと理解しておきましょう。

